

「オール大阪」庶民の力で

# 住民投票「反対」で 勝利しよう

明るい会・よくする会の  
総力をあげて

府立体育会館に6000人を  
集めて開いた「大阪市なく  
したらアカン 府民大集合」  
(左)、壇上に並ぶ「オール  
大阪」を象徴する来賓の  
みなさん(下)



4月28日夜、大阪府立体育会館で開催された「大阪市なくしたらアカン 府民大集合」には6000人が集いました。

集会の壇上には、自民党の柳本卓治参院議員、日本共産党の山下芳生書記局長・参院議員、竹山修身堺市長、平松邦夫前大阪市長、浅野秀弥「民意の声」代表、辻公雄「大阪市がな

くなるで！ えらいこっちゃの会」共同代表、中野雅司「大阪府分割解体を考える市民の会」世話人、小池俊二「日本商工連盟大阪地区代表世話人らが並び、八尾市長選挙で維新候補を破った田中誠太市長が駆けつけました（裏面に3氏の来賓スピーチを紹介）。

## すべての市民に對話、宣伝、共同の行動を

大原真・「明るい民主大阪府政をつくる会」大阪府をよくなる会」共同闘争本部事務局長が行動提起

「府民大集合」では、共同闘争本部事務局長の大原真さん(大阪自治労連委員長)が行動提起しました。

大原さんは、「住民投票に勝利するうえで、「大阪都」(大阪府廃止・解体)構想の3つの中心問題(①大阪市も24区もなくす、②くらしをこわす、③一人の指揮官)でやりたい放題の体制をつくる)をさらに徹底することを提起。同時に、改革を求める市民の願いにこたえ、「オール大阪」の庶民の力で、「維新の会」を打ち破るなら、必ず新しい大阪府ができることを訴えようとのべました。

「維新の会」が「4〜5億円」ともいわれる政党助成金を使って、連日の折り込みチラシ、テレビCMや「300台」ともいわれる宣伝カー投入にたいして、草の根の力と共同の力で打ち破ろうとよびかけ、この間の住之江区医師会、大阪市地域振興会、市商店会、大阪府連盟などの「反対」の動きを紹介。そして、全構成員が勝利のための4つの行動にとりくむことを提起しました。

①すべての大阪府民を対象に「大阪府をこわさないで」という思いを語り広げる。街かど懇談会、ハガキ作戦、ネット作戦を成功させましょう。

②連日のハンドマイク宣伝、宣伝カー、ポスター作戦で風を吹かせる。

③全戸配布や駅頭、スーパー前などの宣伝で「よくする会」ビラを一枚残らず配布しましょう。

④地元の町会役員をはじめ、党派をこえて大阪を愛する人たちに共同の申し入れを進めましょう。

5月10日(日)1時半から扇町公園で開かれる共同の「大阪府をなくさないで！ 市民集会」を成功させましょう。

### 寄せられた感想から

- 来賓のみなさんの顔ぶれに、党派をこえて広がっていることに感動。歴史的なたたかいだと身震いしました。
- 柳本参議院議員の、他党議員をたたえる器量の大きさに感動しました。竹山市長の堺を愛する心持ち、想いに感動!
- こんな集会に参加して感激でした。よかったです。企画して下さい下さった方々にお礼申し上げます。コントで大笑いしました。
- 来賓の方々の多彩な顔ぶれに勇気がわいた。山下書記局長のお話は、わかりやすく説得力がある。連休返上で宣伝をしないと、と思った。
- ものすごい参加者で、熱気のある集会でした。庶民の町・大阪をこわしたらアカンという一点で心が一つになり、町の空気を一変するような大運動をつくりましょう。